

2017/2018 年度のジョグジャカルタムハマデイヤ大学日本語教  
育学科の一年学習者に対するひらがなの書き誤りの分析の  
記述的研究

デヴィ.フィトリヤニ

20130830020

要旨

日本語では字は日本語学習の障害物の一つである。そちらは日本語の字とインドネシア語の字が違う。日本語の字はひらがなとかたかなと漢字からなる。インドネシアの字はアルファベットである。そちらの違いは、日本語学習者の初心者のための障壁の一つである。研究では、筆者はひらがなに含まれる誤りを分析する。本研究では、ひらがなの筆記にどのような誤りがあるのか、誤りの原因を調べることを目的としている。

本研究で用いた方法は組み合わせ法である。組み合わせ法は、定性的方法と定量的方法の組み合わせである。定性的な方法は、ひらがなを書くことで、エラーの原因を特定するために使用されている。学生試験の結果を記述するために使用される定量的方法は、有効な結果を得るために統計式を用いて計算される。

46 問から 22 回答者のテスト記述の結果に基づいて、回答者の 83% が正しく回答しました。このエラーは、フォームとひらがなのシーケンスを記述する際のエラーである。最も高いエラー格付けは、文字「や」の 38.6% で、最も低いエラーは「と」の文字に 4.5% の値で発生する。カテゴリは 2 つのひ書き込み文字に基づくカテゴリと形状込み文字に基づくカテゴリに分類される。書き込み文字に基づくエラーは 61% であり。形状込み文字に基づくエラーは 87% である。

アンケート分析に基づいて、ひらがなのひらがなを忘れてたり忘れてたりすることがないため、ひらがなの間違いが頻発する原因となっている。また、ひらがなの間違いの原因はと同じ形の文字の間違いによるものであり[あ]と[お]、[れ]と[ね]、[め]と[む]、[は]と[ほ]、[た]と[な]、[さ]と[き]、[る]と[ろ]である。ほとんどの学生が書いている順序に注意を払っていないので、ひらがなのシーケンスを書く間違いの原因は、フォームの文字の結果だけである。

キーワード：分析、書き誤り、ひらがな、日本語

## I. 序論

日本語では字は日本語学習の障害の一つである。そちらは日本語の字とインドネシア語の字が違う。日本語の字はひらがなとかたかなと漢字がある。インドネシアの字はアルファベットである。そちらの違いは、日本語学習者の初心者のための障壁の一つである。

外国語学習者にとってまだ難しい手紙の 1 つは、ひらがなである。Tualaka (2004:7) は「伝統的に、日本語の文字は上から下に向かって書かれ、右上隅から始まって、この日本語の文章は、水平に、すなわち左から右に書くこともできる」と言った。Pamungkas (2013:7)「ひらがなは、元の日本語の単語を書く際に使用される日本語の文字です。そちらは、場所の単語であろうと、物のものでも、他の種類の単語でもない」と言った。

ひらがなは漢字ほどではないが、ひらがなの書き方に誤りがあった初心者の初心者ではない。こちらのようなエラーは、日本語学習者が一般的に強調している落書きのエラーやひらがなの並びのような書面で発生する可能性がある。こちらは Setiawati さんの意見に沿ったものである。Setiawati (2008:1)「ひらがなやカタカナ文字を書く際の誤りは、実際には致命的である場合が多いと考えられている。間違った順序で書き込むと、異なる形が生成され、読みにくいからである。」と言った。そちらの研究の結果から、ひらがなの誤謬は、実践の欠如、集中力の欠如、正確さの欠如、記憶されていないこと、順序を無視し混乱していると結論付けることができる。

研究者は、日本語の学習者がひらがなを書く際に間違いがあるから、興味があると感じてくる。ひらがなの間違いが頻発する原因となっている。また、ひらがなの間違いの原因は、[あ]と[お]、[は]と[ほ]、[め]と[ぬ]、[は]と[ほ]、[た]と[な]、[さ]と[き]、[る]と[ろ]である。と同じ形の文字の間違いによるものである。本研究のタイト

ルで、2017/2018 年度のジョグジャカルタムハマデイヤ大学日本語教育学科の一年学習者に対するひらがなの書き誤りの分析の記述的研究。

## II. 本論

### A. 本研究

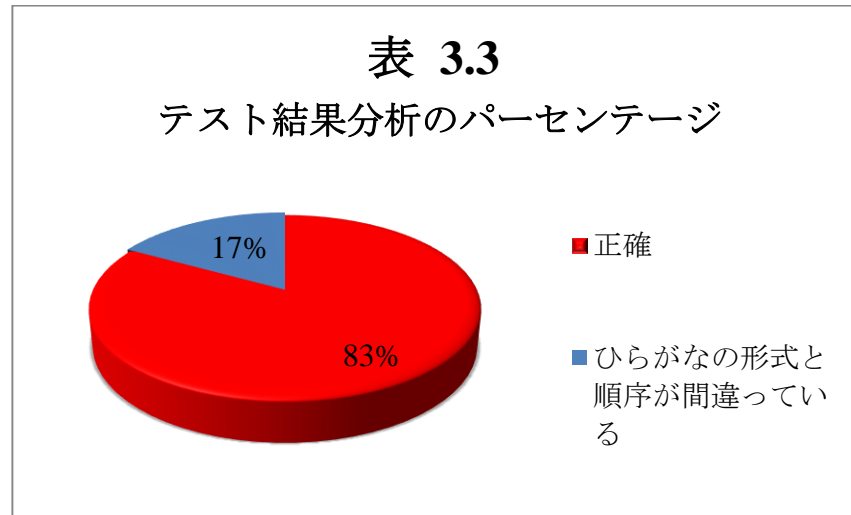
本研究で用いた方法は組み合わせ法である。組み合わせ法は、定性的方法と定量的方法の組み合わせである。定性的な方法は、ひらがなを書くことで、エラーの原因を特定するために使用されている。学生試験の結果を記述するために使用される定量的方法は、有効な結果を得るために統計式を用いて計算される。

この調査の人口は 2017/2018 年度のジョグジャカルタムハマデイヤ大学日本語教育学科の一年学習者に対する記述的研究の 55 人の学生である。本研究では、単純ランダムサンプリング法を用いたサンプリングは、22 人の人口における既存のスタアを考慮せずは無作為に選択された人口の一部であるサンプルである。この研究は、ジョグジャカルタムハマデイヤ大学日本語教育学科の一年学習者に調査を 2017 年 11 月 4 日木曜日に行われた。

この研究問題の定式化は（1）2017/2018 年度のジョグジャカルタムハマデイヤ大学日本語教育学科の一年学習者に対する記述的研究にひらがなを書き込み文字に基づく形状込み文字に基づく書くことの間違いで起こったことは何であるか。（2）2017/2018 年度のジョグジャカルタムハマデイヤ大学日本語教育学科の一年学習者に対する記述的研究に誤字の原因とひらがなの書簡の原因は何であるか。

## B. データの結果と議論

### 1. テスト結果



テストの結果、22 の回答者に 46 の質問があり、各質問は 2 つの点数で合計 2,024 の回答が得られ、回答者の 83% が正しく回答し、回答者の 17% が間違っただけで答えた。このエラーは、フォームとひらがなのシーケンスを記述する際のエラーである。

### 2. エラー評価

既知のテスト結果は、異なるエラー率を有る。したがって、研究者は、以下の表の形式で、最高エラーレートから最低エラーレートまでのひらがな書き込みエラーの順位を提示する。

**表 3.3**  
エラー率の割合

評価	字	パーセンテージ
1	や	38,6%
2	み	29,5%
3	め, ゆ, む	27,2%
4	ね, ふ	25%
5	な, れ, て, よ, せ	22,7%
6	さ, ぬ, ろ, を, き, へに	20,4%
7	え, る, そ, ひ	18,1%
8	ち, ら, も に, け, く	15,9%
9	ま, こ	13,6%
10	ほ, は, す, おか	11,3%
11	つ, う, ん, り, い	9%
12	わ, た	6,8%
13	あ, と, し	4,5%

エラ上記の表に基づいて、最も高いエラーをランク付けしたひらがなは、38.6%の値を有する文字「や」である。ひらがなを書く際の最低誤差は、文字「あ」、「と」、「し」（4.5%）である。

### 3. カテゴリ

カテゴリは2つのひ書き込み文字に基づくカテゴリと形状込み文字に基づくカテゴリに分類される。ひらがなの筆記の誤り分析の結果の誤りカテゴリに基づいて、まだ多くの学生がひらがなの形で間違いを犯していると結論付け

ることができる。回答者がひらがなを覚えていないため、文字の形の誤りが発生である。このカテゴリは、一度だけ書かれ、応答者によって 2 回または数回書かれた一連のひらがな文字を書き込むという形で行われる。手紙は一度書かれていても、同じ書式で何度も書かれていたはずなので間違っています。

#### 4. エラーの原因

アンケート分析の結果に基づいて、ひらがなの虚偽の原因は記憶されていないので、ひらがなの忘れが原因である。また、ひらがなの間違いの原因はと同じ形の文字の間違いによるものであり[あ]と[お]、[れ]と[ね]、[め]と[む]、[は]と[ほ]、[た]と[な]、[さ]と[き]、[る]と[ろ]である。ほとんどの学生が書いている順序に注意を払っていないので、ひらがなのシーケンスを書く間違いの原因は、フォームの文字の結果だけである。

誤りや間違いの理論に基づいて、生徒が何度も間違いを犯し、ひらがなの文字を理解したり記憶したりしていないという理解を指します。ひらがなの文字が理解できない、または記憶されていない場合、ヒエログナ文字の書き込みエラーは長い間続くもので、エラーのカテゴリに分類される。間違い（間違い）は、以前の生徒がすでに理解していたが、忘れられた要因のために誤って起こったことを意味する。忘れることは一時的であり、リコールの方法で処理することができます。したがってこの研究では、ミスのカテゴリー（ミス）にも含まれている。

### III. 結び

46 問から 22 回答者のテスト記述の結果に基づいて、回答者の 83%が正しく回答し、回答者の 17%が間違っで答えた。このエラーは、フォームとひらがなのシーケンスを記述する際のエラーである。最も高いエラー格付けは、文字「や」の 38.6%で、最も低いエラーは「と」の文字に 4.5%の値で発生する。この研究では、研究者は、書式と文字列の書込みに基づいて、エラーである 2 種類のエラーを分類する。カテゴリは 2 つのひ書き込み文字に基づくカテゴリと形状込み文字に基づくカテゴリに分類される。書き込み文字に基づくエラーは 61%であり。形状込み文字に基づくエラーは 87%である。

アンケート分析に基づいて、ひらがなのひらがなを忘れることがないため、ひらがなの間違いが頻発する原因となっている。また、ひらがなの間違いの原因は、[あ]と[お]、[れ]と[ね]、[め]と[む]、[は]と[ほ]、[た]と[な]、[さ]と[き]、[る]と[ろ]である。ほとんどの学生が書いている順序に注意を払っていないので、ひらがなのシーケンスを書く間違いの原因は、フォームの文字の結果だけである。

### IV. 参考文献

Pamungkas A Setiawan . 2013. *Belajar Bahasa Jepang dari Nol*. Yogyakarta: Buku Pintar.

Setiawati. 2008. Analisis Kesalahan Urutan Penulisan Huruf Hiragana Pada Siswa Kelas XI Bahasa MAN Rejoso Darul Ulum. Skripsi D3 pada Jurusan Pendidikan Bahasa Jepang Universitas Tinggi Pesantren Darul Ulum. Jombang: Tidak Diterbitkan

Tualaka, Yacob. 2004. *Belajar Mudah Bahasa Jepang Untuk Pemula*. Yogyakarta: Absolut